



議員と語ろう

○新しいスタイルで「議員と語る会（議会報告会）」を開催!

11月5日から10日まで、市内8会場で議員と語る会（議会報告会）を行いました。今回は報告会のやり方を一新し、コーディネーター（進行役）を置き、小グループに分かれて感想や疑問を出し合い、それをさらに全体でまとめる進行スタイルで行いました。たくさんの市民の皆さんにご参加いただきました。感謝申し上げます。会場で出された感想やご意見をいくつか紹介させていただきます。

○いただいた感想より

- ◆ 議員の報告のみの一方通行でなかったため、全体としてはよかったと思います。
- ◆ 大変有意義だったと思います。このような機会をもっと設けてほしいです。
- ◆ 新しいやり方はよかったです。質問をどのように出していいかを考えてしまう時がありました。
- ◆ やり方は良かったですが、この方式になかなか理解が得られなかったようで、ちょっと残念でした。議員の方々はいいでしたねいでした。
- ◆ 市民の意見や要望などをどのように把握し、市政及び議会活動に反映させる活動や取り組みをされているのか具体的に報告して欲しかった。
- ◆ 昼の時間にしてくださると、女性の参加がもっと増えるのではないのでしょうか。
- ◆ 町内会が希望を出したら出向いてくれますか？勉強会を開きたいと思います。

※他のご意見・感想はHPに掲載しております。



12月議会

令和元年度府中市一般会計補正予算案をめぐり議論沸騰!!

12月議会は、12月2日から12月16日までの15日間開き、議案13件、報告1件、意見書1件、請願1件を審議、議決しました。

主な議案

- ・ 府中市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について（ごみ処理協力金を現在の負担額のままに定めるもの） (原案可決)
- ・ 令和元年度府中市一般会計補正予算(第3号)について（基本構想策定業務委託料600万円を300万円に減額し歳入・歳出それぞれ1億4,466万円を計上） (修正可決)

議員提出意見書案

- ・ 地域医療構想の実施にあたり、住民の声を反映させることを求める意見書について (原案可決)

市民からの請願

- ・ 高校卒業年齢まで子どもの医療費助成を求める請願について (不採択)

一般質問

Q & A

12月5日、6日 14人の議員が
市政を問う！



公明党
加島 広宣

防犯対策

「オレオレ詐欺」などの特殊詐欺被害者の多くは高齢者である。市民の方の財産を守り被害を防ぐために、さまざまな特殊詐欺の手口がわかるよう広報をされ、振り込め詐欺防止の効果がある、警告メッセージ付き通話録音機器の設置補助もしくは、行政で準備され無料で貸与を検討されてはどうか。

詐欺被害に遭われないよう今後、導入を含め検討したい。



公明党
大本 千香子

保育所の給食費無償化と療育

10月から府中市独自政策として給食費の無償化が始まったが、幼稚園、療育施設は適用されていない。今後の対応を伺う。

これらの施設では給食の扱いが様々で、弁当持参のケースもあり一律に判断できないが、今後整理しながら検討を進めたい。

現在各保育所で療育を担当されているが、すでに限界との現場の声も大きい。公立の療育施設を早急に検討されるべきではないか。

今後の計画の中で検討していきたい。



市民クラブ
芝内 則明

「協働のまちづくり条例」の制定

条例を制定して、行政と一体となって我が町・我が地域の人・物・環境の地域課題を解決する組織を推進すること

とで、結びつき・賑わい・文化の継承ができないか。

人口減少が進む中で、地域の課題を市民と共有し協働で取り組むことが重要だと認識している。行政としては、町内会を含め地域組織の在り方や市全体の地域づくりの取り組みについては、他市の例などを参考に、町内会とも連携し、今後検討する。



市民クラブ
土井 基司

「公文書管理条例」の制定

2009年に公文書管理法が施行されたが、国民の財産である公文書を勝手に廃棄・改ざんするなどの事件が国で相次いでいる。府中市でも、2014年に市長の職員時代の通勤届が流出し、公文書管理が問題となった。個人情報流出防止対策は進んだが、条例化や専門家による歴史的公文書認定など公文書管理の改善は進んでいない。現状を伺う。

条例制定は考えていない。公文書保存の判断は、各担当課で行っている。



市民クラブ
水田 豊

厚生労働省による再編統合 病院名の公表

公表後の市の対応について伺う。

公表の中に府中市の2病院が含まれていたことに驚いている。府中市民病院は平成28年に急性期病床50床を回復期に転換、北市民病院では地域包括ケア病床に転換するなど努力が続いている。2病院は地域に必要な病院として残していくスタンスに変わりはない。今後は病院機構とも連携をとり「福山府中圏地域医療構想調整会議」の中で、しっかりと議論し、医療提供体制を守っていきたい。



創生会
藤 毅

公共施設更新問題に対する 取り組み

公共施設の更新計画の策定について伺う。

現在329ある建築系施設のうち、築後30年以上を経過した建物が半数近くもあり、今後施設更新の時期は集中することが予想される。更新計画の策定については、橋梁、舗装、市営住宅、上下水道は長寿命化修繕計画を策定済で、計画的に整備、修繕等を行っている。それ以外の建築系公共施設については、今後、個別施設計画策定に向けた職員向けの説明会を開催し、早期策定に向け取り組んでいきたい。



創生会
広瀬 和彦

町内会要望の取り扱い

要望に対する経過について、現在どの段階か経過履歴が残されているのか。特に人事異動があった場合の対応について伺う。

総務課で受け付けした要望書は各担当課へ送り一カ月を期限とし要望元へ回答することとしている。期限までに回答がされていない場合もあり、全て把握出来ていない。人事異動時の引継ぎがなされていないといった指摘もあるが未処理の事案など後任に経過等の引継書で引継ぎを行っている。



創生会
安友 正章

三玉プロジェクト

三玉プロジェクトの基本計画とその予算案について伺う。

旧三玉医院施設を活用した上下町における地域包括ケア拠点施設の整備については、9月末に基本設計業務が完了した。4、5階を減築して建物の軽量化を図ると共に必要な補強を行う予定である。改修費用は、3億6500万円、財源は空き家対策総合事業で半分が国庫補助の適用、残りを過疎事業債適用とし、最終的な市の持ち出し額は5500万円程度となると想定している。



創生会
もりかわ みのる
森川 稔

埋立ごみ処分場の確保

Q 府中市埋立センターの残余容量調査で、埋立可能年数が約8年と予測されているが、今後の処分場の確保に向けた計画づくりについて、市長の所見を伺う。

A 埋立センターは、市民生活を支えるうえで欠かすことのできない重要な施設であり、ごみ処理広域化の取り組みと並行して、早急に考えて行く。埋立ごみの減量化により、現在の処分場の延命を図りながら、来年度以降、調査・研究に入りたい。



創生会
ふくだ つとむ
福田 勉

芦田川の土砂撤去と樹木の伐採

Q 昨年7月豪雨で堆積した土砂の撤去や樹木の伐採について伺う。

A 平成30年7月豪雨災害の対応について、国交省により樹木伐採及び河道掘削を実施している。現在、下流の福山市から順次実施しており令和元年10月末時点で樹木伐採は全体の約7割、河道掘削は全体の約5割が実施済みである。令和2年中に樹木伐採と土砂撤去を実施していただけるように要望をしていく。



創生会
やまぐち こうじ
山口 康治

ICT技術導入で有害鳥獣を捕獲

Q 有害鳥獣の中でも、猿の被害が増えている。ICT化による有害鳥獣パトロールを考えているのか伺う。

A 市は総務省の「地域IoT実装のための計画策定・推進体制構築支援事業」に採択され、農業分野ではドローンによる農薬散布や自動収穫機の導入を検討中だが、鳥獣パトロールの計画はしていない。しかし、来年度は、檻の中に鳥獣が侵入するとセンサーが反応してメールで映像配信・遠隔操作で捕獲ができるICT技術を用いた大型囲み檻などの捕獲システムの導入を検討している。



創生会
まるやま しげみ
丸山 茂美

次期総合計画に農業振興計画を

Q 農業ビジョン作成進捗状況と、次期総合計画に農業振興計画を取り入れる考えがあるかどうか伺う。

A 府中市版農業振興ビジョンを来年度策定するために、現状や課題の整理を行うと共に仕様書の作成等を実施している。次期総合計画への農業振興計画を取り入れることについては、総合計画は今年度作成中であり、農業振興に係る部分もしっかり計画に位置づける予定である。



日本共産党
ならざき まさみち
榑崎 征途

市民病院の患者対応の改善

Q 休日当番日に子どもが熱を出し市民病院を受診したところ診察できないと言われた。他の医療機関も紹介してもらえなかった。こうした対応についてどう考えているのか伺う。

A 今回ご指摘をいただいた件については、仮に診察できないとしても、他の医療機関を紹介するといった対応は可能であったのではないかと思われる。このことについては病院機構に対しても、来院される方に対し適切かつ丁寧に対応するように要請をしたところである。



日本共産党
おかだ たかゆき
岡田 隆行

観光地のトイレ設置、整備は急務

Q 広島県は外国人観光客の増加に合わせて「トイレカルテ」を作っているが府中市の登録は一カ所のみと少ない。また、上下のまちなかには公衆トイレがなく、観光振興に大きな影響が出ている。どうしていくのか伺う。

A 旅行者の満足度向上のためにトイレを整備し、今は一カ所だが他の場所もカルテに登録していきたい。上下町の場合一ピーターの減少にもつながると危惧している。当面、来年春オープン予定のゲストハウスに多目的トイレを設置していきたい。

委員会・分科会での審議

総務文教委員会

Q 府中市第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の制定について

A 府中市第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の制定について（原案可決）

Q 非正規職員は何人か。また、期末手当の支給をされるのであれば、どのくらいの人員費増になるのか。

A 臨時・非常勤職員のうち会計年度任用職員へ移行が想定される該当者としては、今年度当初の職員数というところ、パートタイムの第1号会計年度任用職員の職員数が176名、フルタイムの第2号会計年度任用職員の職員数が95名、合わせて271名である。人員費への影響は、現時点で調整中であり確定したものではないが、概算で令和2年度の予算の枠として約8千万円を見込んでいます。また、令和3年度はさらに4千万円の増額を見込んでいます。

Q 来年度からは退職金も支払われる制度となる中で、今後の採用の基準に変化があるのか。

A 現在臨時・非常勤職員で任用されているものが引き続き会計年度任用職員として任用を希望する場合は、現状どおり、選考による採用を行う。

予算特別委員会 総務文教分科会

Q 令和元年度府中市一般会計補正予算（第3号）についてオリリンピック・パラリンピック関連事業業務委託

Q 料500万円を具体的にどう使っていくのか。

A 大きく分けて3つの事業を考えている。1つ目は聖火リレー・オリリンピック・パラリンピックへの参加機運の醸成のための費用である。

令和2年5月19日に実施するオリリンピックの聖火リレーは、12月半ば以降には聖火リレーの氏名と市内のコース詳細ルートが発表される予定であり、決定したコースを示した広報チラシの作製・配布、ぐるっとバスやラッピング、市役所や文化センターなどでのパネル展示や動画を流すなどの取り組みをして機運の醸成を図る。また、リレー当日に数百人のボランティアが必要になると想定され、折り込みチラシ等、募集のための経費を計上している。

2つ目はメキシコ及びパラグアイ選手団との交流のための費用である。パラグアイ選手団は福山市、尾道市、神石高原町、府中市で事前合宿を行う予定となっている。

先月、メキシコ女子ソフトボールチームの皆さんに府中市に来ていただき、府中市の子ども達と交流する機会を設けたところだが、今後も積極的に機会を設けたいと考えており、その際のバスの借り上げ、通訳の手配、応援グッズの作製費用を考えている。

3つ目が府中市にゆかりのあるアスリートとの交流のため費用である。府中市にゆかりがあるオリリンピック・パラリンピックに出場の可能性があるアスリートに出演の可能性があるため、懸垂幕の作製や、実際に選手を招いての講演会・体

駿会などの実施費用を考えている。仮に府中市にゆかりのあるアスリートを招くことが難しい場合には、連携協定を締結している企業に属しているトップアスリートを招いての交流会も実施していきたいと考えている。

厚生委員会

・令和元年度府中市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について(原案可決)

Q 出産育児一時金が168万円の増額となっているが、出生数が増えているのか。

A 昨年度の出生数が175人であったが、この5年間の数値を統計的に見ると、190から230人の間で推移している状況である。しかしながら、全体的な人口減に伴って出生数も微減の傾向にあると考えられるが、要因の分析は十分にはできていない。

・(継続審査中議案) 請願第1号 高校卒業年齢まで子どもの医療費助成を求めるとめた質問事項について、本委員会において執行部から回答を受けた。

議員問討議

「追加を含む3千人以上の署名については真摯に受け止める。」追加となる費用は市の負担となり、市民の税負担が増える。限られた財源の中で、本当に最優先とする事項なのか。「負担増を理由に施策の実施が困難だ」という理由であれば、どの施策も同じ。「本請願が高校生の支援に対する考えのきつかけとなった。」などの意見が出された。その後、継続審議の動議が

出されたが、起立少数により否決された。

反対討論

高校生家庭への有効な支援策について、ニーズ調査が必要ではないか。義務教育年代までの子育て支援策を今後も拡充していかねばならない中で、毎年発生する追加予算については、十分な検討が必要であり、現在、それが最重要課題として挙げられる状況ではない。国に対しては全国統一で医療費助成の基準をつくり、底上げをしていくようにさらに働きかけなければいけない。

賛成討論

今回署名を出された多くの皆さんの声にこたえるため、予算をつけるよう市当局に努力してもらい、子育て支援につなげていくというのがあるべき道筋だと思う。今回まず採択をして市の方に考えていただくことが必要である。

予算特別委員会 厚生分科会

・令和元年度府中市一般会計補正予算について

Q 三玉プロジェクトの施設整備経費1719万6千円が繰越明許費となっているが、4階5階を減築することにより、当初予定した機能が変わるのか。また、総事業費はいくらとなるのか。

A 減築部分は、もともと機械室、倉庫や職員の休憩室として使われていたため、当初から予定していた機能については全て1階から3階を使うことをイメージしており影響はない。

また、総事業費のうち本事業に関わってこれまで予算化している事業費は、基本設計、実施設計及び水道工事費の合計で約2000万円となる。

この財源内訳は、国庫補助が364万円あり、これ以外については、過疎事業債を適用する。過疎事業債に対する交付税措置などを除いた一般財源は約700万円となる。

加えて旧三玉医院施設の改修費の詳細については、今後実績の中で確定をしていくこととなるが、基本設計の際の想定で3億6500万円必要となると見込んでおり、そのうち、国庫補助、過疎事業債に対する交付税措置などを除いた一般財源は約5500万円となる。総事業費は、先ほどの基本設計、実施設計、水道工事費の合計約2000万円と3億6500万円を加えた額、3億8500万円となり、市の負担額は合計で約6200万円となる予定。ただし、駐車場整備にかかる経費は、現時点で未定であることをご承知おきいただきたい。

建設委員会

・府中市下水道事業の設置等に関する条例の制定について(原案可決)

Q 今まで特別会計であったものを、企業会計へ移行するメリットは何か。

A 現在の下水道事業は、特別会計で行っており、収支の区分は歳入と歳出のみで、経理方式は単式簿記、経理認識は現金主義で資産の把握はない。新たに導入する公営企業会計では、経理方式は複式簿記、経理認識は発生主義となり減価償却を導入すること、原価や資産の状況把握が容易となり、経営状況、財政状況などの情報が明らかにすることから、施設や下水道管渠の適切な工事や維持管理が計画的に行うことができる。

更に、発生する費用と下水道使用料金による収入のバランスが適正であるかという判断も容易になり、下水道事業の経営の健全化を図るという目的で導入するものである。

・府中市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について(原案可決)

Q これまでごみ処理協力金を2分の1に減額してきた経過措置を本則にするものだが、今後、ごみ処理の広域化により、処理費用のコストダウンを図っていくことも可能となり、その際に条例改正するのが自然ではないか。

A ごみ処理協力金は、特例措置で2分の1に減額しており、ゴミの減量化に一定の効果があり定着しているという現状認識である。本則は倍額であるが、継続して特例措置で2分の1に減額してきたものを、特例ではなく、本則にするというのが趣旨である。

・令和元年度府中市一般会計補正予算(第3号)について

Q 基本構想策定業務委託料600万円の補正について、日程的な制約があったのか。

A 今年6月に府中天満屋を活用して賑わいあるまちを創出するために、新たな魅力を備えたまちの顔となる拠点づくりについて、連携・協力を行うことで覚書を締結し6月以降定期的に協議を行ってきた。今後、駅周辺等における賑わいづくり創出の実現に向けて、内容を整理し協定書を締結する予定となっている。この協定書が内容的に煮詰まってきたこともあり、12

月で補正予算を計上させていただいた。

Q ネウボラに限った場合、当初どの程度の予算を想定されていたか。

A ネウボラに限定した費用は、計画ゾーニング、平面レイアウト、パース、共通費等で約250万円の費用が必要となる。

Q 賑わいづくり創出により人が集まり、府中天満屋の売上の効果につながる。これは、一企業への利益誘導にならないか。

A 府中天満屋の2階の一部を活用する目的として、ネウボラのような社会的課題を解決する施設を設置するとともに中心市街地の魅力を高め、駅周辺の賑わいを創出すること、官民が共同して行うことにより、まちづくりという観点において、お互いの強みを掛け合わせ、利用者の利便性の向上が図られるものと考えている。結果として、府中天満屋への集客が増加すること、利用者への利便性が向上が図られること、一企業への営業支援とは考えていない。

Q 基本構想策定により、中長としての意気込みを伺う。

A 今回の議論の中で人口減の活力が失われていくというところは認識している。そうした中で、教育、子育て、高速通信網の整備、駅周辺の賑わいというのは大変重要な課題だと認識している。駅周辺の拠点の一つである府中天満屋の大改修ということで、企

業にとっては相当重い判断をされた中で、4000平方メートルを超えるスペースの譲渡の申し入れがあった。天満屋と府中市が一体となって、駅周辺の一角を盛り上げていくべきであり、その取り組みを進めていきたい。今回の予算は、そのたたき台となるものである。

議員問討議

「事業を行うには、費用対効果を考えたうえで進めることが今後ますます大切になる。今回の件については、必要最小限の床面積で再生を図るということ、とりあえずは少しずつの費用で先を見据えて手を打っていくという手法が合っている。それと自分の利益だけではなく、多くの人たちに愛されたいというところを考えると、とりあえずは、市長から府中天満屋という商業施設でしっかり府中市の賑わいのために頑張っている意気込みも伺った。市民や議会も含め一緒に考え、前に進んでいくような計画策定をしていただければと考えている。」この基本構想策定について、議会からの提言など、特別委員会を設置し、検討していく必要があると考えられる。などの意見が出された。



討論議案

請願第1号 高校卒業年齢まで子ども医療費助成を求め、る請願について

反対 本谷 宏行

府中市は現在、医療費助成を中学生まで拡大している。高校生への拡大は、府中単市の負担が毎年約1700万円増加し、将来市民の負担となす。また、実施自治体において、人口増加につなげておらず、その効果は不透明である。必要な高校生支援とは何かを、総合的に検討する必要がある。議会として高校生との意見交換を計画中である。

賛成 岡田 隆行

9月議会に市民3名の請願者から2千名を超す署名を添えて提出されたこの請願書の重みを考えるとき、高校卒業年齢までの切れる重要な子育への支援は重要である。署名にその後も3千名を超す市民が集められて真摯に耳を傾けることこそ、議会の責務である。

賛成 水田 豊

本請願は、①小野市長が進める希望と笑顔あふれるまちづくりが合致している。②近隣自治体がすでに実施している政策で優先順位は高い。③いづれにも年間1700万の負担増でできる政策であり、市の意向とは違ったとしても、市民の要望にこたえることが議員、議会の役割である。

議案第95号 令和元年度府中市一般会計補正予算(第3号)について

・原案(基本構想策定業務委託料600万円)

賛成 加島 広宣

選ばれたまちとなるために、次世代を見据えた公共交通に必要経費や町の賑わい創出に、周辺の賑わいを考えるとき、立地的利便性や交通の結節点である商業施設の整備をおこなう基本構想を策定していくべきと考える。

・修正案1(基本構想策定業務委託料600万円を0円に)

賛成 岡田 隆行

子育てにネウボロは大切である。しかしその設置場所は、基本構想に限ったものでは、円と高額。根拠も不明。今、管理に必要と認められていない。市民に丁寧な意見を聞くことこそ大事と考える。

・修正案2(基本構想策定業務委託料600万円を300万円に)

賛成 土井 基司

天満屋2階スペースの活用は、天満屋2階スペースの活用は、十分協議して進めたい。また、既存のスペースを減額し、構想に白紙に戻す再検討を求めたい。

賛成 加納 孝彦

第1期、第2期中心市街地活性化事業を進めてきたのは、道に賑わいを出していくことが目的であった。投資を必要とする中で、周辺施設も含まれて総合的に考えるべきである。総論は賛成であるが、特別委員会の設置を提案する。

平成30年度決算に係る事務事業に対する提言

所管常任委員会	事務事業名	事務事業に対する提言	今後の方向性
総務文教委員会	行政情報発信事業	「ひろおくり」の視聴率は向上しており、一定の宣伝効果は出ているものとする。番組の放送時間等を市民に周知徹底したり、過去の放送をホームページ上で見ることができるよう工夫したりすることで、さらなる視聴率の向上に期待する。 内容充実のために、アピールするポイントを明確にし、制作会社に情報・意図を的確に伝えること。また、広報担当以外の職員においても、市内の情報についてアンテナを張り巡らせ、入手した情報のPR方法を常に意識されたい。	一部見直しのうえ継続すべき
	市内企業と地方移住希望者のマッチング事業	集客数や参加者数といった数値目標の達成が移住促進という目的にどの程度寄与しているのか見えずら、目標設定の妥当性に疑問が残る。関係人口の増加を計る指標を工夫し、事業が目的達成に向け前進していることを説明できる必要がある。 前提として、補助金ありきの事業となっていないか、本当に必要な事業なのかということについても再度検討・整理されたい。	抜本的（事務事業の統廃合等）な見直しのうえ継続
	移住・定住スタディツアー事業	児童・生徒及び保護者並びに市民に対して、大学・高校入試まで見据えた事業としての実施意義の周知徹底を図られたい。 また、受験率100%を目指して、より多くの子どもたちが受験にチャレンジする意欲を持てるような施策を工夫されたい。	現状のまま継続すべき
	「英語力」リノベーション事業	児童・生徒及び保護者並びに市民に対して、大学・高校入試まで見据えた事業としての実施意義の周知徹底を図られたい。 また、受験率100%を目指して、より多くの子どもたちが受験にチャレンジする意欲を持てるような施策を工夫されたい。	現状のまま継続すべき
厚生委員会	家庭教育支援事業	「放課後の子どもの居場所づくり」の観点から、放課後児童クラブ等やコミュニティ・スクールも含めて、事業のあり方を再構築されたい。 また、放課後子ども教室の指導員確保及び親プロのファシリテーター養成・確保について、更なる予算措置も検討の上、重点的に取り組まれたい。	一部見直しのうえ継続すべき
	子ども・子育て支援事業計画	計画策定にあたっては、アンケート調査から見えてくるニーズに応え、地域特性を活かした事業の構築となるよう、他分野（産業・まちづくり・教育等）との横断的連携を十分図られたい。	一部見直しのうえ継続すべき
	三玉プロジェクト	改修に当たっては一定程度の制約はあるものの、建物を既に取得した状況もあり、最大限有効活用できるよう、寄附者の意向も汲み、抜本的見直しのうえ、費用対効果のある事業としていただきたい。 また、目的からずれないように進めていただきたい。	抜本的な見直しのうえ継続
	地域づくり活動事業	社会福祉協議会への補助金事業であるが、現状では事業効果が上がっているのか、目標が達成できているかが見えてこない。見えるような形をとっていただきたい。 社会福祉協議会と常時連携をとりながら、今必要とされている福祉ニーズを速やかに受け取れる体制をとり、地域福祉の推進を図られたい。	一部見直しのうえ継続すべき
	医療体制確保事業	医師の育成、新規医療機関開設等の増加をさらに推進すること。 あらゆる方策を使って医療提供体制の整備に努められたい。	一部見直しのうえ継続すべき
建設委員会	湯が丘病院基本構想策定事業	医師や看護師の確保が困難な状況ではあるが、労働条件の改善をする等、努力を継続していただきたい。 老朽化した施設についても、時間的猶予がない中、今後どうしていくのか、更なるスケジュール管理を行いながら、早急に検討委員会を設置し、より具体的な施策の決定に努められたい。	一部見直しのうえ継続すべき
	市営住宅の適切なストックマネジメント	50年以上経過した老朽住宅が増加し、解体及び長寿命化の改修工事を進めるため、生活基本計画で市営住宅の方向性を明確にし、府中市営住宅長寿命化計画などによる判断基準に基づいて優先順位を付け、事業を実施するなど、民間活用も含めて、適切なストックマネジメントに務められたい。	一部見直しのうえ継続すべき
	就職・UIターン促進支援事業	SNSなど情報発信の新規性を取り入れ、高校生・大学生・UIターン者を引き付けるよう、府中市の魅力発信を強化すると共に、福山地方以外の地域で、市内企業の紹介や就職説明会を開催するなど、積極的な取り組みに務められたい。 取り組みの追跡調査等を実施してニーズを把握し、ニーズにあった取り組みへの転換も検討されたい。	一部見直しのうえ継続すべき
	NEKIを拠点とした首都圏戦略	物販部門について、収益の安定的な黒字化や府中市の特産品を広めるため、近隣市町と連携して備後圏の特産品の販売を増やされたい。 その際は、掛け率など差別化を検討されたい。 飲食部門に力を入れ、採算がとれるようコストの見直しを行い、食材については、府中市内からの購入を増やされたい。 以上のことについて、事業主体である府中商工会議所と緊密な連携を図られたい。	一部見直しのうえ継続すべき
建設委員会	上下地域の観光振興事業	角倉邸と翁座の改修など、今後は行政として補助するには限界があり、PFI等民間活力を利用するよう検討されたい。 上下地域の観光施設を活かすため、他にない企画で、お得感のあるイベントを展開し、稼ぐ事業にするため組織の充実を図られたい。	一部見直しのうえ継続すべき
	農業関連地方創生事業	新規就農のための人材育成とハード面の整備補助など、限られた予算の中で成功事例を作るべく資源を集中し、更には、農業所得向上のため6次産業化の推進に取り組まれたい。また、農業従事者が安心して経営できるよう鳥獣対策にも取り組まれたい。	現状のまま継続すべき

12月議会での各議員の議決結果 (賛否が分かれたもの、主なもののみ掲載しています。詳細は府中市ホームページをご覧ください)

議案名	議員名																				
	加藤 吉秀	芝内 則明	福田 勉	森川 稔	広瀬 和彦	安友 正章	岡田 隆行	檜崎 征途	土井 基司	水田 豊	加納 孝彦	山口 康治	本谷 宏行	三藤 毅	加島 広宣	大本千香子	田邊 稔	橋高 尚裕	丸山 茂美	棗田 澄子	
修正案1	令和元年度府中市一般会計補正予算(第3号)について(基本構想策定業務委託料600万円→0円に)	-	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
修正案2	令和元年度府中市一般会計補正予算(第3号)について(基本構想策定業務委託料600万円→300万円に)	-	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
予算	令和元年度府中市一般会計補正予算(第3号)について(修正部分を除く)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	高校卒業年齢まで子どもの医療費助成を求める請願	-	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
意見書	地域医療構想の実施にあたり、住民の声を反映させることを求める意見書について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(一議長は採決に加わらず、欠は欠席、×は反対、○は賛成、棄は棄権、除は除斥…本人等に関わる議案については審議に参加できないこと)

防災士の皆さんとの意見交換会



10月21日に、防災士の皆さんと総務文教委員会で意見交換会を行いました。

防災士の活動内容、行政に対する要望、市の防災、情報受伝達、避難所の設備等について、貴重なご意見をいただきました。

今後の防災対策に生かせるように取り組んでいきます。

議会の動き(10~12月)

- 10月7日 広報広聴特別委員会(編集作業)
- 10月7日 議会改革特別委員会(第23回)(議員報酬・政務活動費について)
- 10月7日 議会改革特別委員会全体会(定数・報酬・政務活動費について)
- 10月8日 議会運営委員会(所管事務調査)
- 10月16日 建設委員会(所管事務調査のまとめ)
- 10月16日 広報広聴特別委員会(議会報告会の協議等)
- 10月21日 議会改革特別委員会(第24回)(答申素案について)
- 10月21日 総務文教委員会(所管事務調査)
- 10月24日 議会運営委員会(議会報告会の協議等)
- 10月24日 広報広聴特別委員会(議会報告会の協議等)
- 10月28日 議会報告会リハーサル
- 10月29日 厚生委員会(所管事務調査のまとめ、請願の継続審査)
- 10月31日 議会運営委員会(定例会の運営)
- 11月5日~11月8日・10日 議会報告会
- 11月11日 総務文教委員会(所管事務調査のまとめ)
- 11月18日 議会改革特別委員会(第25回)(議会報告会における議論のまとめ)
- 11月21日 厚生委員会(請願の継続審査)
- 11月26日 議会運営委員会(定例会の運営)
- 12月2日~12月16日 12月定例会
- 12月6日 議会運営委員会(定例会の運営)
- 12月10日 総務文教委員会(議案の審査)
- 12月11日 厚生委員会(議案の審査)
- 12月12日 建設委員会(議案の審査)
- 12月16日 議会運営委員会(定例会の運営)
- 12月16日 賑わいづくり特別委員会(正副委員長の互選)
- 12月17日 広報広聴特別委員会(編集作業)
- 12月18日 議会改革特別委員会(第26回)(報告書のまとめ)
- 12月23日 賑わいづくり特別委員会(所管事務調査)
- 12月23日 議員全体会(勉強会)
- 12月23日 議会運営委員会(所管事務調査)
- 12月24日 総務文教委員会(勉強会)
- 12月25日 賑わいづくり特別委員会(所管事務調査)

賑わいづくり特別委員会設置!

府中市内の賑わい創出をおこなうため新たに特別委員会の設置をおこないました。

賑わいづくり特別委員会名簿

◎委員長 ○副委員長

◎棗田 澄子 ○土井 基司 田邊 稔 山口 康治
加納 孝彦 広瀬 和彦 福田 勉 芝内 則明
加島 広宣 檜崎 征途

編集後記

2月3日(月)は、節分です。皆さんのご家庭では、節分にちなんだことを何か行われますか? 「節分」とは、各季節の始まり(立春、立夏、立秋、立冬)の前日のこととされ、文字どおり「季節を分ける」という意味があるそうです。色々な昔のならわしや言い伝えから、今では豆まきや恵方巻きを食べることが定番となり、お店にもずらりと商品が並んでいます。日本は、季節の移り変わりがきちんとあり、それを踏まえて守られている風習もあります。季節の折に、その風習を守れたら一番いいのですが、なかなか実現はできていないのが悔やまれます。なかなかなか現考する一日にしたいと考えております。伝統や風習をさして、今年も5月19日(火)聖火リレーが行われます。府中市においても5月19日(火)聖火リレーが行われますので、皆様も一緒に応援いただきますようお願いいたします。年と2年が皆様にとって、また府中市にとって良い年となりますように!(加納孝彦)

議会だよりへのご意見・ご感想お待ちしております。
TEL(0847)43-7171
FAX(0847)45-3212

視察の受け入れ

- 10月30日 香川県小豆島町(小中一貫教育について)
- 10月31日 北海道室蘭市(地方独立行政法人 府中市病院 機構について)
- 11月7日 北海道深川市(コミュニティスクールの取り組みについて)